

SIサイエンス(株)はオランダの Isolife 社と、同社が製造する ^{13}C , ^{15}N 安定同位体標識植物および植物由来の安定同位体化合物の日本での販売について提携：

同社の製品は現在注目されているメタボロミクス(Metabolomics)や安定同位体プロービング(Stable Isotope Probing SIP)の有力な武器になると期待されています。

Isolife – ライフサイエンスのための安定同位体標識植物



[$\text{U-}^{13}\text{C}$] シロイヌナズナ



[$\text{U-}^{13}\text{C}$] トマト

植物を基にした安定同位体によるソリューション

IsoLife bv は、ライフサイエンスの広範囲にわたる研究と診断法のための安定同位体トレーサー技術と内部標準法に使用するための食用植物とハーブに由来するユニフォームに標識された化合物を製造し販売しています。顧客は、世界中の企業と公共研究機関です。

「IsoLife は、トレーサーと内部標準に関する問題を解決します」

トレーサーについて

^{13}C -トレーサーを用いることにより、植物中の構成成分を追跡するのに非常に役立ちます。

安定同位体 ^{13}C や ^{15}N は放射線が出ない研究者にとっては安全な製品です。わが社の安定同位体で標識した製品は 1.1%から 99%までを取り揃えています - 医学、栄養学、生化学、環境科学の研究者は生きている組織（人間や動物）や環境中での追跡と変化を追っかけることができます。たとえば、あなたの製品に対する健康を証明するための、栄養的な研究でしばしば使われています。

内部標準について

¹³C 内部標準を用いることにより、サンプルの分析精度を上げることができます。

分析しようとしている成分（時間、場所、試料組成、処理方法、オペレーターまたは使用する装置から独立して）を正確に定量することができます。安定同位体を標識した植物由来化学物質または植物エキスが、定量のため以外にも、メタボロミクスにおける LC-MS または GC-MS 技術による天然で、標識されていないサンプルの代謝物の定性、定量の管理にも用いられています。

(アプリケーション メタボロミクス)